

只今の要求に対して、会社側として「満額回答」と致します。

今、世の中は、アフターコロナに向けて、経済環境や労働環境が大きく動き出しました。そのような中で、今回の春の交渉は、想定外の大幅な物価上昇の側面だけに留まらず、アフターコロナで変革の活力となる要求内容であったと考えます。健保としては、そうしたことを踏まえ、満額回答での妥結といたします。

コロナ禍を経て、常識と思っていたことがそうでは無いことも学び、今後に生かせる数々の事や要素も見えてきました。今後は、それらを変革の好機と捉えて実践レベルに落としていけるかが、カギであり、それぞれの業界内において、競争力の差に繋がっていくものと考えます。

健保業界においては、電子申請や資格確認のマイナンバーカードに代表されるようにDX化の波は確実に来ています。また、母体企業の健康経営や健保とのコラボヘルスの重要性は、益々高まってきていると言えます。

一方で、母体企業においては、今後、少数運営が基本となる中で、従来の業務の仕方から大きく変革しない限り立ち行かなくなります。

そうした様々な状況を捉えて、健保としても先々を見据えた中で、中長期的にどうあるべきか、今何をなすべきか、中期計画を中心に推し進めていることは、ご承知のところ です。

それらを進める為には、人の力は、欠かせません。その意味で、変革の活力となる春の交渉であったと思います。

今、アフターコロナに向けて、大きく変革すべき時です。引き続き、労働組合、並びに職員の皆さんの理解と協力をお願いし、変革の波に乗り遅れないように一丸となって頑張っていきましょう！

引き続き、宜しく願いいたします。

以上